

みちしるべ

第129号

人権・同和問題啓発広報
人権同和政策課
☎ 22-7506
同和教育・啓発推進会議



平成26年度 出雲市人権作文・ポスターコンクール

出雲市教育委員会では、人権に関する自分の考えや思いを作文、ポスターに表すことで、人権尊重の重要性・必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に、人権作文・ポスターコンクールを毎年実施しています。今年度も、学校生活や家庭生活等の中で得た体験に基づいて、市内小中学校児童生徒のみなさんから約400点の作品が寄せられました。



表彰式

11月19日には、人権作文・ポスターコンクール表彰式がありました。特選・入選作品は、人権作文・ポスター集「ひまわり」や人権カレンダー等で紹介し、学校や家庭等での啓発活動に役立てています。特選に選ばれた作品の中から一部を紹介します。

わたしの左手

岐久小学校 三年

山本 海莉

わたしは、さい近お母さんと私の左ききのことについて話をしました。

わたしはボールを投げる時だけは右ききだけど、それ以外の字を書くとき、はさみを使うとき、はしを使うとき、全部小さいころから左ききです。わたしがまだ小さい時、近所のおじさんたちがわたしの左きき

ききを右ききに直さないといけない。」と何度も言っていたそうです。それを言われたお母さんは、言われるたびにとてもかなしい気持ちになったそうです。このことはわたしには初耳のことだったけれど、それを聞いた時、わたしもなんだかかなしい気持ちになりました。兄が出そうになりました。兄もわたしと同じようにずっと小さいころから左ききだけど、兄に対しても同じようにまわりの人からお母さんは言われていたのかなあと、もったかない気持ちになりました。お母さんは、「右ききが当たり前のような考えをたくさんの人がもっていたから、左ききは右ききに直さないといけない、とまわりの人は思っていたんだよ。」ということも言っていました。左ききの人みんな右ききに直したほうがいい、という考えはわたしにとってはとてもふしぎです。そしてなんでこんなに右ききを当たり前だと多くの人が思うのだろうということも何度も思いました。

左手で字を書いていると、「なんだか書きにくそうだね。」という人がいます。左手でごはんを食べていると、「なんだか食べにくそうだね。」という人がいます。まわりの人には左ききで作業をするわたしのことをふんだと感じたり見えたりするかもしれないけど、わたしにはふんだなど感じません。左ききの人、右ききでないといけないという考えの方がわたしにはずっとふんだなあと感じてしまいます。今では左きき用のはさみもあるし、それがいいにも左ききの人でも使いやすい道具をいろいろなところで目にするのが多くなりました。右ききが当たり前の生活から左ききでも当たり前の生活になってきている、ということだと思えます。そんな世の中にもっとなつてほしいです。

わたしは、左ききであるということもわたしのいいところの一つだと思えます。多くの人にはまちがっているということとをむりに直そうとするのではなく、それもその人のよさだと感じられるような温かい気持ちで広がってほしいと思います。

わたしはこれからもきつと左ききで生活していくと思います。その左ききだということとをいけないことだとは思わないでじしんをもって生活したいと思います。



大社中学校 1年 豊松ひなせ



大津小学校 6年 佐野京翼



出東小学校 3年 石原颯太



鶉鷲小学校 5年 古川久留美

その取組の一つ、同和問題
研修会には、市の同和教育啓
発指導員が地域に出かけ講話
をしたり、ビデオフォーラム
のお手伝いをしたりしていま
す。昨年度、同和教育啓発指

現在、市内にある42地区の
同和教育推進協議会では、そ
れぞれの地域において人権意
識の高揚を図り、差別のない
まちづくりを推進するために
さまざまな取組が行われてい
ます。

〜地域でもさまざまな同和問題研修会が行われています〜

導員が出かけた各地域での研
修会は104回行われ、3、
107人の方が参加されまし
た。

「研修に参加した人の声」

研修を通して、自分たちの
暮らしを見つめ直すことが
できる。

*地域のみんなで話し合った
り、人権感覚を高め合う場
があることは非常にありが
たい。

この地域に来て20数年にな
るが、初めは「よそ者」扱い
されて悲しかった。しかし、
いつの頃からか、自分の考
えや思いをこの地域に受け
入れてもらえるようになって
きた。いろいろな人から
声をかけてもらったり、わ
からないことを教えても
らったり、自分自身がすご
く暮らしやすくなった。そ
れもこのような地域研修を
継続してやっているからだ
と思う。

私たちの生活の中には、同
和問題をはじめとしてさまざ
まな差別や偏見があり、いま
だに多くの人が悔しい思いを
しています。みんなが、差別
や偏見、人権侵害について正
しく理解し、気づいたら自分
にできることをやってみるこ
とが大切です。そうしたこ
とを学び、住みよい地域をつ
くるために、地域では地区同
和教育推進協議会が核となっ
て、さまざまな研修会を行っ
ています。

*この地域が安心して暮らせ
る地域だから、悩み事など
を話すことができる。都会
から帰ってきて、ゴミの収集
等わからないことも、親切
に教えてもらって気をつけ
て出すようになった。地域

みなさんの地域でこうした
研修会が行われる際は、ぜひ
積極的な参加をお願いしま
す。